

## 令和7年度 敦賀工業高等学校 学校関係者評価書

(問)

- ・学校評価書の成果と課題が適切かどうかをご確認下さい。
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策は、適切かどうかのご意見をお聞かせ下さい。
- ・その他、本校の教育活動についてのご意見をお聞かせください。

(意見を聞いた方)

P T A 役員 合計 5 名 ( P T A 会長・副会長 )

(意見欄)

### ○学習支援（授業を大切にする）

- ・学習支援アプリ（スタディサプリ）やSPI対策の導入により、基礎学力向上に向けた環境が整備されている点を評価する声が多く寄せられた。特に、学習支援アプリの活用が習慣化し、遅刻の減少や学習意欲の向上につながっているとの意見があった。
- ・授業の理解をより深められるよう、前回の内容を振り返る機会や、自分のつまずきに気づける仕組みがさらに充実するとよい、という意見が寄せられた。また、授業が一方的に進むのではなく、生徒の理解の様子を確かめながら進めてほしいという声もあった。
- ・3年間を通して専門教科への理解が着実に深まり、学習支援アプリの活用も含め、学習習慣が定着している点を評価する意見があった。授業中の時間の使い方についても、生徒・教職員ともに効率的であるとの印象が示された。
- ・特に改善点はないという意見もあり、学校の取組全体に対して概ね肯定的な評価が見られた。

### ○生徒支援（自主的・主体的な行動ができる）

- ・生徒一人ひとりを丁寧に見守り、成長を支えていることへの感謝の声が寄せられた。日々の関わりの中で、生徒が少しずつ自分で判断し行動しようとする姿が見られるようになったことを評価する意見もあった。また、制服がない中でも身なりを整えて登校する様子が好印象であったという声が多かった。
- ・アルバイトや自転車通学、自動車学校に関する指導が適切で、服装検査もこまめに行われていたことから、学校生活や社会生活に対する安心感につながったという意見もあった。全体として、生徒指導に関しては「とても良い」という肯定的な評価が多く、特に改善点はないという声も見られた。

### ○進路支援（進路について自分事として考え行動できる）

- ・進路について早い段階から考えられるよう、学校が丁寧に仕組みを整えている点を評価する声が寄せられた。12月の進路懇談会では、企業の方から直接話を聞く機会があり、進路をより身近に感じられたという意見もあった。
- ・就職に向けた指導は充実しているとの評価が多く、進学希望者への支援がさらに充実するとよいという声もあった。生徒が前向きに進路を考えられていることや、教職員が親身に寄り添ってくれていることへの感謝の言葉も寄せられた。

### ○保健支援（自分の健康に関心を持つ）

- ・生徒が自分の健康や安全を守る意識を高められるよう、日頃から丁寧に指導されている点を評価する声が寄せられた。マスクやヘルメットの着用など、基本的な安全行動が定着していることを安心材料として挙げる保護者もいた。また、けがをした際には保健担当や担任から迅速に連絡があり、丁寧に対応してもらえたことへの感謝の声もあった。
- ・健康管理は生徒自身の意欲も大切であり、その点で良い取組が行われているという意見がある一方で、高校生にとって規則正しい生活を維持することの難しさを指摘する声もあった。休暇中も含め、体調や生活面について適切な指導が行われ、規則正しい生活習慣の維持につながったという評価も寄せられた。

## ○入学奨励（生徒募集）

- ・課題研究発表会やオープンスクール、体験入学などの取り組みが、生徒募集にもつながっていると感じるという意見が寄せられた。特に課題研究発表会は、学校の特色や生徒の学びの成果がよく伝わり、魅力発信として効果的であるとの評価があった。
- ・一方でより多くの中学生に関心を持ってもらうために、検定試験や資格取得の様子をインスタグラムなどのSNSで早い段階から紹介することも有効ではないかという提案もあった。広報面では、ホームページやSNSを上手に活用している点を評価する声が多く、周囲に受験生がいれば勧めたいという前向きな意見も見られた。

## ○自主性の育成

- ・生徒が自分の目標を持ち、主体的に取り組む姿が見られるようになってきた点を評価する声も寄せられた。課題研究発表会の映像からも、一人ひとりが自分の課題テーマに向き合い、意欲的に活動している様子が伝わり、成長を感じたという意見があった。
- ・生活習慣の確立は難しい面もあるものの、学習に対して前向きな姿勢が育ってきているとの声もあった。また、資格取得の経験が生徒自身の自信につながっている点を肯定的に捉える意見も見られた。全体として、自主性を育む取組が良い方向に働いているという評価が多かった。

## ○工業教育（探究的な取り組み・姿勢の獲得を目指す）

- ・生徒が主体的に課題へ取り組む姿勢が育っていると感じるという意見が寄せられた。課題研究発表会では、各学科の専門性を生かしながら、わかりやすく質の高いプレゼンテーションが行われており、生徒の探究心や学びの深まりがよく伝わったという評価があった。
- ・一方で、探究活動をさらに充実させるために、生徒同士が協力したり意見交換を行ったりする機会を増やすことで、個々の取り組みがより高まるのではないかという提案もあった。全体として、生徒の探究的な姿勢は十分に育っていると感じる声が多く寄せられた。

## ○全体（総括）

- ・生徒が学習したことや身につけた力を発表する機会が増えることで、さらなる成長につながるのではないかという期待が寄せられた。課題研究発表会や体験入学で、生徒が中学生に教える姿を見て、主体性や自信が育っていることを実感したという声もあった。また、部活動で先輩を指導する経験が生徒自身の自覚や成長につながっているとの評価もあった。
- ・資格取得に向けた取組が生徒の自信につながっている点は高く評価されており、福井フューチャーマイスター制度に加えて、より広く企業に認知される全国的な評価制度があると、さらなる魅力向上につながるのではないかという意見もあった。
- ・学校全体の雰囲気については、教職員が親しみやすく、やり取りがスムーズであるという声が多く、アットホームな学校文化が保護者からも好意的に受け止められている。生徒は探究心を持って学校生活を楽しんでいる様子が見え、学びに向かう姿勢が自然に育っていると感じるという意見も寄せられた。
- ・また、資格取得支援だけでなく、部活動での指導や就職支援においても丁寧なサポートが行われており、保護者から感謝の声が多く寄せられた。

## ○学校関係者評価を踏まえた今後について

- ・生徒の就職に関しては、多くの企業から関心が寄せられ、安定した求人が確保されている点が高く評価されている。これは学校の長年の取組の成果であり、今後も継続してほしいという声も寄せられた。一方で、進学希望者に対しても、進学校との連携やオープンキャンパス参加の機会を早期から充実させることで、より幅広い進路選択を支えられるのではないかという意見もあった。
- ・生活習慣の確立については、学校と家庭が連携しながら取り組むことが大切であるという声があり、生徒の生活面を支える体制の継続が期待されている。
- ・資格取得については、各学科の特性を生かした取組が生徒の成長につながっていると評価されており、今後も引き続き推進してほしいという意見が多かった。また、福井フューチャーマイスター制度に加え、より多くの企業に認知される全国的な評価制度があると、さらなる魅力向上につながるのではないかという提案もあった。
- ・地域に貢献できる人材の育成や、進学率の向上への期待も寄せられており、資格取得支援だけでなく、部活動での指導や就職支援に対しても感謝の声が多く見られた。